

今週のビルマのニュース 2010年5月14日【1018号】

選管委員長「外国の選挙監視団は不要」

・選挙管理委員会のテインソー委員長は、9～10日にビルマを訪れたキャンベル米 국무次官補に対し「我が国には選挙の経験が豊富だ。外国からの選挙監視団は必要ない」と述べた(12日AP、国営紙)。

大臣・副大臣は辞職しないまま選挙に出馬か

・選挙関連法が公務員の立候補を禁じていることについてテインソー選管委員長は「大臣や副大臣は政治職であり公務員ではない」と述べ、先月軍籍を離脱してから新党「連邦団結発展党(USDP)」の登録を申請したテインセイ首相ら大臣・副大臣らは辞職せずに立候補できることを示した(12日DVB)。

米、北朝鮮との軍事協力について軍政に警告

・ビルマを訪れたキャンベル米 국무次官補は9日、核開発事業を担当するウータウン科学技術相と会談し、国連安保理1874号決議を全面履行する約束を守るよう求めた。次官補によれば「最近、約束が破られた可能性がある」とのことだが、4月に北朝鮮関連の船がティラワに入港していたことを指すようだ。国営紙によれば科技相は、決議を守るという約束はしたが「政府には国家主権を維持・保護する義務もある」と述べた(12日イラワディ、国営紙)。

・キャンベル氏はラングーン(ヤンゴン)で民主化運動指導者アウンサンスーチー氏や国民民主連盟(NLD)の幹部らとも会談した(10日米 국무省)。

国民民主連盟(NLD) 党員が新党の登録を申請へ

・7日に解党した国民民主連盟(NLD)の党員の一部が、新党「国民民主勢力(NDF)」を発足させることになった。総選挙に参加するため月内に登録申請を行う。他の民主化政党や少数民族政党とも協力するとのこと。アウンサンスーチー氏が関与するかは不明(7日AP、イラワディ)。既存の政党の登録申請締め切りは6日だったが、新規の政党の登録申請は月末まで受け付けられる。

岡田外相、NLD解党「非常に残念」

・岡田外相は7日の記者会見で、国民民主連盟(NLD)の解党を「非常に残念なこと」と述べた。公正な総選挙を行うよう軍政に働きかける具体策については「画期的な手がある訳ではないので、今のミャンマー政府が考え方を変えることを働きかけていくのが唯一の道」と述べた(外務省会見記録)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)に約52億円。うち8,000万円はビルマ・アラカン州北部の住民とビルマ南東部からの難民への支援にあてられる(13日プレスリリース)。

イベント情報

・アカデミー賞長編ドキュメンタリー部門候補作品「ビルマ VJ 消された革命」15日より公開

・ビルマ軍事政権のすすめる2010年総選挙に反対・国連事務総長に対しアウンサンスーチー氏等すべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動 在日ビルマ人共同行動実行委員会(国連大学前、10～14日 15～16時)

・講演会「ビルマ(ミャンマー)の紛争と資源開発—天然ガス開発の事例から—」ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀(都留文科大、14日18時半～)

・写真展「ビルマ(ミャンマー)からの声」第1部=ヒューマン・ライツ・ウォッチ(HRW)インターン主催(明治大学駿河台校舎アカデミーコモン1階エントランスホール、12～18日 8時半～21時)。第2部=観光事業研究会主催、HRWほか協力(慶應義塾大学日吉キャンパス第四校舎独立館1階、20～26日 8時半～21時、26日は12時まで)

・上智大学アジア文化研究所<旅するアジア2010>第1回講演会「難民キャンプに図書館をつくる」渡辺有理子氏(学校司書、元シャンティ国際ボランティア会)(上智大学12号館4階、19日18時～)

・ビルマ市民フォーラム例会(文京シビックセンター区民会議室5階C、29日18時半～)

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165